

単元構想表

学 → ① ② ③ 領域 → A B C
 言語活動 → ア イ ウ 他 指導事項

(第2学年) 単元名：「クマゼミ増加の原因を探る」

指導者：大垣市立星和中学校 教諭 渡辺 孝充

All

| 言語活動例 | | 学年 | 領域 | 記号 | 報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。 | | | | |
|---------------------------------------|-----|----|--------------|----|--|--|---|---|---|
| 指導事項 | | 2年 | C領域 | ア | 重点化 | 学習活動 | 評価規準 | 留意点 他 | 時 |
| 2年 | C領域 | ア | 導入（学習への見通し） | | と沼田さんの文章のわかりやすさについて仲間と話し合おう | ・文章を読んで、主張の中心を容易に捉えることができることを実感し、どこが文章のわかりやすさを生んでいるのか考えていく課題意識を共有する。 | | (留) 既習の「ちよつと立ち止まって」「ダイコンは大きな根？」を連想させ、表現の工夫について考える学習活動であることを確認する。 | ① |
| | | | 構造と内容の把握 | | | ・文章が21の段落で構成されていることを確かめる。 ・文章を序論・本論・結論の三つに分け、特に本論で述べていることがどのように主張の中心につながっていくのかを読み取る。 | | (指) 本論で述べる内容がそのまま結論となるわけではないことを確かめ、そこにも「展開」の工夫があることを理解できるようにする。 (留) ここで尾括型の文章について(知識及び技能)の定着を図る。 | ② |
| | | | 精査・解釈 | | | ・本論の表現の工夫を考えると並行して、それぞれの段落で述べられている内容を把握する。 | | | ③ |
| | | | 精査・解釈 | | | ・本論の表現の工夫を考えると並行して、それぞれの段落で述べられている内容を把握する。その際に、特にこの文章で多様される図表(グラフ)に注目することで述べられている内容を捉える。 | ・図表と結び付けることで本論で述べられている内容を把握している。(発言の確認・記述の分析) | (評) ノートに記した「単位時間のまとめ」を中心にして確認する。 | ④ |
| | | | 精査・解釈 | | | ・本論をさらに四つに分け、それぞれの内容をわかりやすく説明するために沼田さんが施した表現の工夫について「叙述」「展開」「具体例」の三つの観点から考える。 | ・沼田さんの表現の工夫を二つの観点から捉え、その効果について述べている。(発言の確認・記述の分析) | (指) 三つの観点の具体を例示することで、それぞれの表現の工夫がもつ特徴を理解できるようにする。 (評) ノートに記した「単位時間のまとめ」を中心にして確認する。 | ⑤ |
| | | | まとめ（学習の振り返り） | | | ・沼田さんの文章を分かりやすいと感じる要因について、「叙述」「展開」「具体例」の三つの観点から書きまとめる。 | | (留) 文章全体を包括するというよりは、より顕著な表現の工夫に注目してその効果を述べるようにする。 | ⑥ |
| 関連する[知識及び技能] | | 2年 | (1) | オ | 文や文章 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 | ・筆者の主張の中心を捉えることを通して、尾括型の文章の特徴を理解している。(記述の分析) | (評) ノートに記した「単位時間のまとめ」から確認する。 | ③ ④ ⑤ ⑥ | |
| 学びに向かう力、人間性等に関する評価 (主体的に学習に取り組む態度) | | | | | | ・目の前にある表現を当たり前のものと捉えず、筆者の卓越した表現の工夫を考えることを通して、自らの言語感覚を磨こうとしている。(活動の観察) | (評) それぞれの単位時間において学習活動を観察し、それらの評価を蓄積する。 | | |

※「留意点 他」の記号…(指)指導に当たっての留意点、(評)評価に対する留意点、(他)他の学習活動のアイデア、(教)教材・教具の工夫